

鷺沼駅前地区再開発事業

鷺沼駅周辺では、準備組合による再開発計画の検討が進められています。

この再開発事業により、駅を中心に商業、都市型住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積や交通広場の整備など交通結節機能の強化に向けた取組を推進することで、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図っていきます。

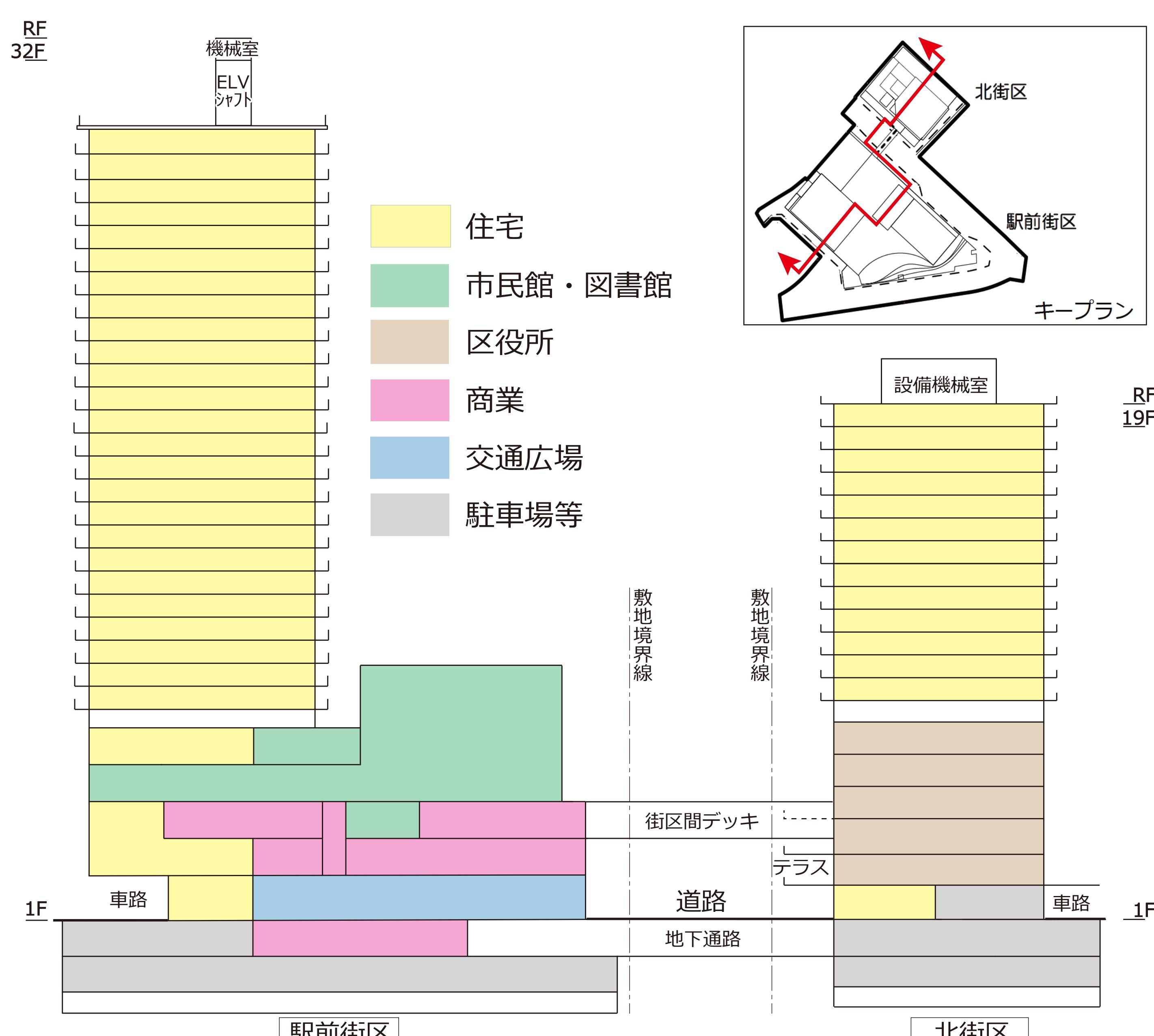
(所 在 地) 川崎市宮前区鷺沼1、3丁目、小台1丁目 地内

(面 積) 約2.3ha

(施 行 者) 鷺沼駅前地区市街地再開発組合

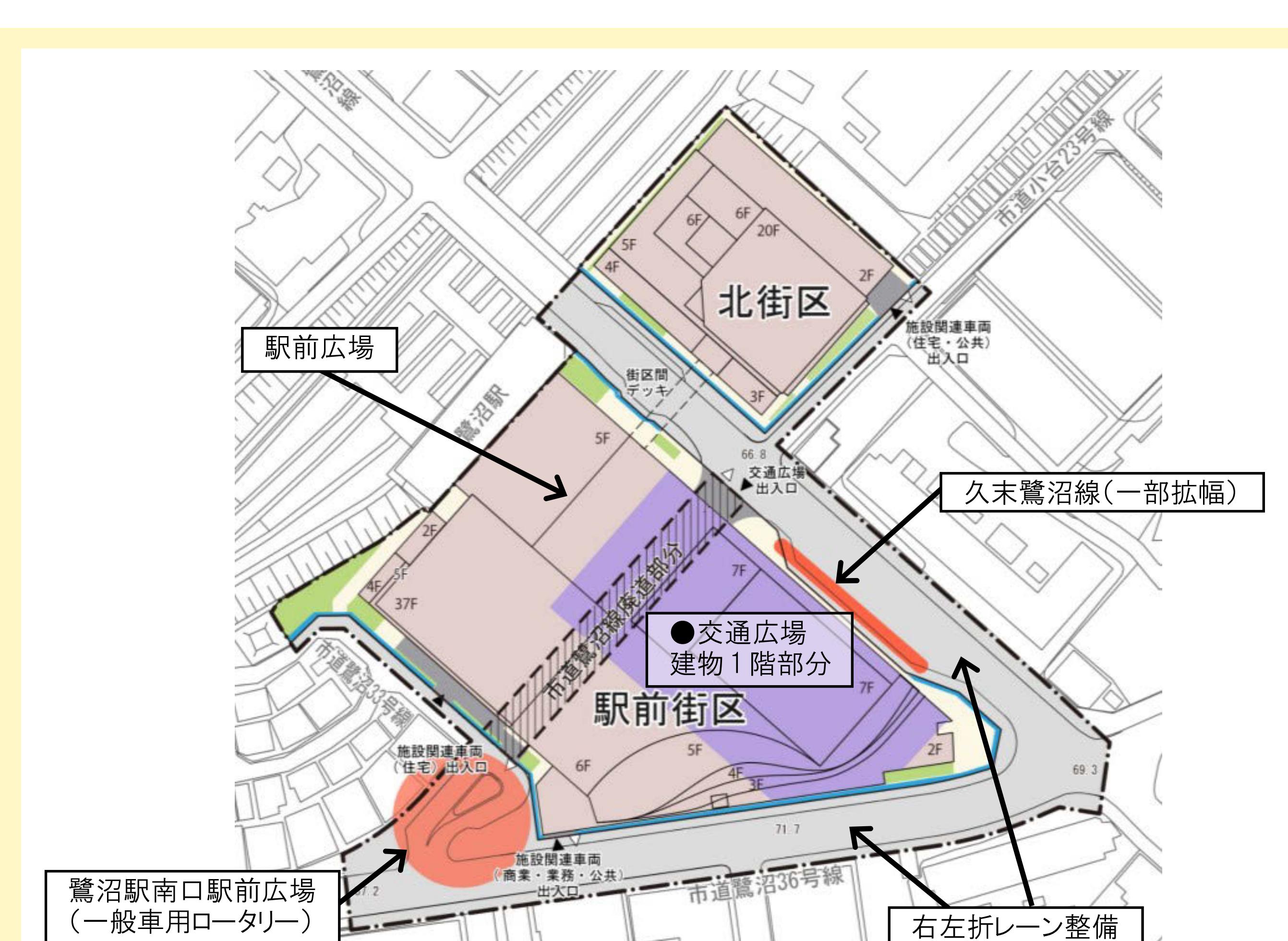
(施 行 期 間) 令和5(2023)年度～17(2035)年度(予定)

(事 業 費(想定)) 約880億円



※本資料で使用されている図やパースは、今後変更になる可能性があります。

	駅前街区	北街区
敷地面積	約11,170m ²	約3,680m ²
建築面積	約9,440m ²	約3,150m ²
建蔽率	約85%	約86%
延べ面積	約83,193m ²	約26,123m ²
容積対象面積	約55,850m ²	約18,400m ²
容積率	約500%	約500%
階数	地下2階 地上32階	地下2階 地上19階
構造	R C造 一部S R C造 一部S造	R C造、一部S造
建物高さ (最高高さ)	約133m (約133m)	約89m (約89m)
主要用途	商業、市民館・図書館 (大ホール含む)、都市型住宅、業務、駐車場等	区役所、市民館(小ホール)、都市型住宅、駐車場等
住宅戸数	約342戸	約110戸



事業計画段階

令和5年度 都市計画決定・変更
令和6年度 組合設立認可

駅前街区工事

令和7年度 解体工事等着手
令和9年度 建築工事着手
令和13年度 竣工

北街区工事

令和14年度 解体工事等着手
令和15年度 建築工事着手
令和17年度 竣工

鷺沼駅前地区再開発事業

鷺沼駅前地区再開発事業の進捗状況について

令和7(2025)年度から令和8(2026)年度にかけて「仮設バスロータリー整備工事」、「既存インフラ切り回し工事」、「駅前既存建物解体工事」が行われています。

工事の進捗に伴い歩行ルートの変更や車両の交通規制等が行われています。

令和8(2026)年3月末から鷺沼駅3番のりば及び4番のりばの位置が変わります。



川崎市HP



再開発組合HP

令和6(2024)年度

令和7(2025)年度

令和8(2026)年度

組合設立認可

バスロータリー、インフラ切り回し、
建物解体工事等

権利変換認可

※一部のインフラ切り回し、建物解体工事は令和9年(2027)度も継続
※建築物工事に着手は令和9年(2027)度を予定

当面の工事による歩行者・車両動線への主な影響



※最新の状況は、現地の掲示もしくは再開発組合HPをご覧ください

鷺沼駅周辺のまちづくりについて

鷺沼駅の改良工事について

鷺沼駅の改良工事を含めた駅まち一体の都市空間が整備されることとなりました。令和13(2031)年度までに再開発ビル側と駅北口側をつなぐ南北自由通路と再開発ビルの地下1階に直結する改札口が新たに整備されます。



プレリリース記事

駅まち一体の都市空間整備のイメージ



- 回遊動線の強化
- 交通結節機能の強化
- 街区間連絡通路

南北自由通路のイメージ



※本イメージは2025年7月時点での検討状況であり、
今後の設計等により変更となる可能性がございます。
※内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を禁じます。
(東急株式会社提供)

昭和医科大学鷺沼キャンパスの開校に向けて

●キャンパスの整備について

鷺沼駅北側で、学生2,000人が学ぶ「昭和医科大学鷺沼キャンパス」を令和9(2027)年4月の開校に向けて工事を進めています。



※工事写真は上図の➡の方向から撮影されたものです



施設全景イメージ

●川崎市との連携・協力に関する協定の締結について

昭和医科大学と川崎市は、令和7(2025)年9月に連携・協力に関する協定を締結しました。

主な連携・協力事項

- ①医療系大学の特性を生かした生涯学習及び健康増進の推進
- ②地域の憩い・交流の場や大学施設の市民利用
- ③地域活動との連携による地域社会の振興
- ④災害時における大学施設利用 等



市民利用可能な広場のイメージ



昭和医科大学HP